

令和4年度 公立高等学校入学者選抜

学力検査問題

国 語

注 意

- 1 検査係員の指示があるまで、問題冊子と解答用紙に手をふれてはいけません。
- 2 問題は【問一】から【問五】まであり、問題冊子の2～9ページに印刷されています。10ページ以降に問題はありません。
- 3 問題冊子とは別に、解答用紙があります。解答は、すべて解答用紙の の中に書き入れなさい。
- 4 解答用紙にマスがある場合は、句読点、カギ括弧（「や」）などもそれぞれ一字と数えて書きなさい。
- 5 下書きが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いなさい。

【問一】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。ただし、①～⑫は各段落の番号を示す。

① わたしたちが見たり聞いたりしたものを言葉で表そうとして、うまくいかないという経験は多くの方がもっておられるのではないだろうか。

② たとえばわたしたちは自分の気持ちを「はればれとした」とか「うきうきした」といったことばで言い表したり、お茶の味を「まろやかな」とか、「うまみがある」といったことばで表現したりします。しかしそのような表現で、自分の実際の感情や、お茶の味を十分に言い表すことができるでしょうか。たとえば「まろやかな」という表現を、「味が穏やかで口あたりがよい、そして深い味わいが感じられる」といった言葉で説明することはできます。しかしその「深い味わい」がどのような味わいなのかをさらに説明しようとすると、言葉に窮することになります。

③ 言葉は、たしかに、わたしたちが経験するものの一面を言い表し、他の人に伝えます。しかしそれはわたしたちが実際に経験していることの一部でしかありません。言葉による表現は、経験の具体的な内容のある断面で切り、その一断面で経験全体を代表させることに喩えられながらもありません。その一断面からあらためて経験の全体を眺めたとき、両者のあいだに大きな隔りがあります。そのあいだには無限な距離があると言ってもよいでしょう。

④ 「言葉」の語源は、「言の端」であったと言われます。古くは「事」と「言」とは通じるものと考えられていました(言葉には、そのなかで言われているものを具体化する霊的な力が宿っているという、いわゆる言霊思想はそこから生まれたものでした)。しかしやがて「事」と「言」とは同じではないということに人々は気づくようになりました。言葉は「事」言として事柄全体を言い表したのではなく、そのほんの一端を言い表したものにすぎないということが意識されるようになったのです。そのために「言の端」という言い方がされるようになったのだと考えられています。

⑤ 言葉がそのまま経験であるとは言えないのは、それがわたしたちの具体的な経験を普遍的な概念によってひとくくりにしてしまうことと関わっています。先ほど、言葉は個々のものを類に分けていくという働きと深く結びついていると言いました。類に分けるといのは、それらを、その共通する特徴によってひとまとめにすることにほかなりませんが、それは個々のものもっている違いを無視することでもあります。

⑥ たとえば桔梗の青、露草の青、都忘れの青、それぞれの青は独特の色合いをもっています。言葉はその違いを無視して、それらすべてを同じ「青」ということばで表現してしまいます。そのことによって、個々のものもっていた微妙な差異は一挙に背後に退いてしまいます。

⑦ 言葉は、それぞれ独自のニュアンスをもっていたものを、既成の枠組み、言わば鋳型のなかに押し込んでいくという役割を果たしていると言ってもよいかもしれません。わたしたちが

(1) 文章中の〰〰線部のよみがなを、ひらがなで書きなさい。

- ① 窮 ② 普遍的 ③ 既成
④ 抱 ⑤ 削 ⑥ 平板

(2) 線部 a～d のうち、品詞の種類が他と違うものを一つ選び、記号を書きなさい。

(3) ②段落で使われている表現の効果として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア ①段落で話題提示した経験を、おおまかにとらえ、より抽象的に想起させる効果。

イ ①段落で話題提示した経験を、具体例をあげ、より明確に想起させる効果。

ウ ①段落で話題提示した経験を、すべて逆接にとらえ、異なる側面から想起させる効果。

エ ①段落で話題提示した経験を、比喩表現に置き換え、想起させる効果。

(4) 線部①を次のようにまとめた。次の A～C に当てはまる最も適切な言葉を、本文中からそれぞれ指定された字数で抜き出して書きなさい。

A (五字) 言葉には個々のものを

B (四字) に分け、C (三字) のなかに押し込む働きがあるが、その働きによって個々のものもっていた微妙な差異がことばの影に隠れ、

C (三字) のなかに入らなくなるという制約がある。

(5) 線部②とあるが、この「鍵」について次のように説明するとき、

に当てはまる適切な言葉を、本文中の言葉を使い、二十五字以上三十字以内で書きなさい。

ための鍵。

そのときどきに抱く感情も、決して一つのことばで表現できるような単純なものではなく、さまざまな相がそこには絡まりあっています。また固定したのではなく、大きな振幅をもちながら、止むことなく動いていきます。言葉はその動きの振幅を削りとって、それをたとえば「悲しい」とか「寂しい」といった一つのことばで表現するわけですが、そのことによって感情のもっともいきいきとした部分がことばの影に隠れてしまうのではないのでしょうか。

8 言葉によってわたしたちは多くのことを知り、多くのことを考えるわけですが、そこには制約もまたあるように思います。枠組みのなかに入らないものはとらえることができないわけですし、その枠組みに取り込まれたものは、その枠組みにあうように変形させられてしまいます。これは、言葉にどこまでもつきまとう根本的な制約であると言ってよいでしょう。

(中略)

9 さて、言葉はこの具体的な経験とのあいだにある隔たりを乗り越えることができないのでしょうか。

10 言葉にはまず、先に述べたような、ものをグループ分けする働き、つまりカテゴリー化する働きがあります。そこでは、いま目の前にしているリング、たとえば紅玉の独特の赤い色とか、それ特有の甘酸っぱい味、あるいはそれが私の好みであるとかいったことは問題にされません。むしろリングに共通の性質ですべてのものをひとくくりにすることがその場合の唯一の関心事です。

11 しかし、たとえば友人に「紅玉はおいしいよね」と語ったとき、この「紅玉」ということばは、その基礎的な意味を相手に伝えるだけでなく、相手はその味を知っている場合には、その人のなかに、紅玉独特の強い酸味のきいた甘さをありありとイメージさせることができます。それを言葉の喚起機能と呼んでよいと思いますが、わたしたちは、「紅玉」ということばを聞いたとき、その音声越しに基礎的な意味を聞くだけでなく、さらにその意味を越えて、このことば

12 たしかに、わたしたちはいくらかことばを重ねても、紅玉の微妙な味をことばで表現し尽くすことはできません。そこに言葉の限界があります。しかし他方、いま言った機能によって、その味を直接相手のなかに喚起することができます。そのような働きがあるからこそ、わたしたちの会話は、平板な意味のやりとりで終始せず、いきいきとしたものになるのだと言えるのではないのでしょうか。

(藤田正勝「はじめての哲学」 問題作成上一部省略した箇所、ふりがなをつけた箇所がある)

* (注) 先ほど筆者は、本文の前の章でも言葉の性質について論じている。

(6) 1 12 段落は、「言葉は言の端」、「言葉は鋳型」、「言葉の可能性」の順で三つのまとまりに分けられる。その順に合う分け方として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ウ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
エ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(7) 本文において筆者が論じている「言葉の限界と可能性」について、「紅玉」に代わる例を用い、次の〈条件1〉～〈条件3〉と《注意》に従って説明しなさい。

〈条件1〉12 段落における筆者の説明の仕方を踏まえて書くこと。

〈条件2〉食べ物や飲み物以外の例を用いて、具体的に書くこと。

〈条件3〉八十文字以上百字以内で書くこと。

《注意》 限界と可能性という言葉は使わなくてもよい。

※次の枠は、下書き用なので、使っても使わなくてもよい。解答は、解答用紙に書きなさい。

		80		50		20						
		100		70		40		10				
		90		60		30						

【問二】 三人の中学生(赤井さん・青山さん・黒木さん)は、職場体験学習として動物愛護施設ティアハイム長野へ行く予定である。事前打ち合わせとして、青山さんと施設の獣医の佐藤さんがオンラインで打ち合わせた翌日、教室で三人の中学生が話し合いをしている。次のⅠ、Ⅱを読んで、下の各問いに答えなさい。

Ⅰ【事前打ち合わせの様子】

青山 こんにちは、三年A組の青山です。今日は、事前打ち合わせの機会をとっていただきありがとうございます。よろしく申し上げます。

佐藤さん こんにちは。ティアハイム長野で獣医をしている佐藤です。こちらこそよろしくお願ひします。確認しておきたいことは何かな。

青山 はい。当日はどのようなことができるか教えていただけますか。

佐藤さん 当日は、動物の健康診断や検査、手術室の見学をしたり、習性や飼い方、ふれあい方、しつけ方について学んだりしてもらうことを考えていますよ。

青山 ありがとうございます。動物の健康管理や育て方などについて学べるということですね。当日、佐藤さんのお仕事についての思いも聞きたいのですが、よろしいでしょうか。

佐藤さん たとえばどのようなことかな。

青山 はい。仕事の楽しさや大変さ、仕事をしていく上で大切にしていることなどです。

佐藤さん 楽しさや大変さは実際に体験して感じてほしいですね。仕事をしていく上で大切にしていることは、私心がけていることでよいのかな。ところでどうしてそのことを知りたいと思ったのかな。

青山 ③ 私は、将来、獣医になりたいからです。難しいかもしれませんが、少しでも獣医の仕事について学びたくて。以前、家で飼っている犬が病気になるたびに獣医さんにみていただいて、元気になったんです。熱心に治療してくださった姿が忘れられません。そうだったんだね。私が大切にしているのは、動物の病気をみるだけでなく、施設を訪れた飼い主さんのお話もよく聞くことだよ。

青山 ありがとうございます。当日、もう少し詳しく教えていただいてもよろしいですか。

佐藤さん もちろんだよ。当日までに、ティアハイム長野のホームページで目標を見ておいてね。私が大切にしていることは、この目標からも影響を受けているんだよ。

青山 はい。確認しておきます。今日はお忙しいところありがとうございます。当日もお世話になります。よろしくお願ひします。それでは、失礼します。

(1) — 線部①の青山さんの発言は対話の中でどのような役割を果たしているか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 相手の発言の内容を要約する役割。
- イ 相手に対話の目的を意識させる役割。
- ウ 相手に話題の転換をうながす役割。
- エ 相手の発言の根拠を確認する役割。

(2) — 線部②「聞きたい」を敬語を用いた表現に直して書きなさい。

(3) — 線部③の青山さんの発言の意図として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 青山さんが質問しようとしたことが伝わらなかった。
- イ 佐藤さんにわかってもらえるように問い返している。
- エ 佐藤さんの質問を聞いて、自分の質問の背景にある思いが伝わるように内容を補足して理由を説明している。

ウ 佐藤さんの質問を聞いて、飼っている犬のことを佐藤さんに説明するためにエピソードを紹介している。

エ 青山さんが質問しようとしたことが伝わらなかった。佐藤さんに説明するために同じ内容を言い換えて説明している。

Ⅱ【事前打ち合わせ翌日の話し合いの様子】

赤井 青山さん、打ち合わせはどうだったかな。

青山 活動内容もわかったし、大切にしていることも教えてもらったよ。

黒木 それは何だったの。

青山 佐藤さんは、「動物の病気をみるだけでなく、施設を訪れた飼い主さんのお話もよく聞くことだ」とおっしゃっていたよ。でも、なぜ飼い主さんのことが出てきたのかな。

赤井 ティアハイム長野の目標からも影響を受けているとおっしゃっていたから、ホームページも見てみようよ。

黒木 タブレットで検索するね……。あっ、目標ってこのことだね。こんなに目立つところに書いてあったのに、この前見たときには意識していなかったね。「私たちは、『人と動物が共生する潤い豊かな社会』を目標に様々な活動を行っています」とあるよ。

赤井 これってどういうことなんだろう。

黒木 「潤い」って、普通は水分や湿り気があることだけど……。検索してみるから、ちょっと待ってね……。あったよ、見て。三つ意味があって、一つ目は、ほどよい湿り気、水分を含むこと。二つ目は、金銭的に余裕があること、金銭的に豊かであること。三つ目が、生きていることの楽しさを楽しみと感ぜさせるような精神的な充足感、精神的に豊かであることだと書いてあるよ。

青山 ありがとうございます。調べた言葉の意味を参考にすると、ティアハイム長野は、A 社会を目標にしているんだね。

黒木 うん。ティアハイム長野は、動物を扱う仕事をしているけど、動物だけでなく人とのつながりを大切にしていそうだね。働く人の考え方がわかると、もっと仕事のことがわかるよね。どんな質問をすればいいのかな。

青山 たとえば、「B」と聞いてみるのはどうだろう。

黒木 なるほど。つまり、佐藤さんがティアハイム長野の目標をどのように受けとめているか聞いてみるということだね。佐藤さんが、動物だけでなく飼い主さんのことをおっしゃっていたことの背景がわかりそうだね。

赤井 私も早く佐藤さんのお話を聞いてみたいな。当日が楽しみだね。

(4) Ⅱの中で、A に当てはまる適切な言葉を、

赤井さんがタブレットで検索した意味を参考に、二十五字以上三十字以内で書きなさい。

(5) Ⅱの中で、B に当てはまる適切な言葉を、

次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 佐藤さんが大切にしていることは、ティアハイム長野の目標と同じということですか

イ 佐藤さんが大切にしていることとティアハイム長野の目標について、佐藤さん以外の人の考え方も教えてください

ウ ティアハイム長野の目標は、佐藤さんが大切にしていることをもとにしてつくられたということですか

エ ティアハイム長野の目標は、佐藤さんが大切にしていることにとって、どのような意味があるので

【問三】 次の①～③から、誤って使われている漢字一字をそれぞれ抜き出して書き、同じ読みの正しい漢字を楷書でそれぞれ書きなさい。

- ① 複数の実験結果を検当し、物体の素材を特定する。
- ② 緑化推進委員会では、全校生徒の創意工夫を収約し、生徒会活動に反映している。
- ③ 非常時に備えた防災バッグを自作するために、型紙に合わせながら布を断つ。

【問四】 次の文章は、『宇治拾遺物語』の一節「白河法皇北面、受領の下りのまねの事」である。これを読んで、下の各問いに答えなさい。

昔、白河法皇が鳥羽(現在の京都市南部)の御所にいらっしゃった時、ある催しをお開きになった。その催しとは、警護の者たちに、国司(地方の長官)が任命された国へ赴く時の行列のまねをさせて、ご覧になるというものであった。招集された者たちは、当日、それぞれが他の者に劣るまいと着飾った。

源 行遠、心殊に出で立ちて、「人かねて見えなば、めなれぬべし」とて、御所近かりける
特に念入りに装いをこらして 前もって見られたら きっと見慣れてしまつたらう

人の家に入りゐて、従者を呼びて、「やうれ、御所の辺にて見て来」と見て参らせてけり。
おい 見に行かせた

無期に見えざりければ、「いかにかうは遅きにか」と、「辰の時とこそ催しはありしか、いつまでたつても どうして 午前八時 招集の指示

さがるといふ定、午末の時には渡らんずらんものを」と思ひて待ちゐたるに、門の方に声して、
いくら遅れたにせよ 正午から午後二時には行列はやってくるはずだ

「あはれ、ゆゆしかりつるものかな、ゆゆしかりつるものかな」といへども、ただ参るものを
ああ 実に見事だった ただ御所に参上する者に

- (1) 文章中の〰線部の言葉を現代仮名遣いに直して、すべてひらがなで書きなさい。
① ゐて ② かうは

(2) —線部①「見て参らせてけり」と主語が同じであるものを、—線部ア～エからすべて選び、記号を書きなさい。
「ア いへ イ 思ふ ウ 語る エ やりつる」

(3) —線部②「待ちゐたるに」とあるが、どこで待っているのか。本文中から十字で抜き出して書きなさい。

(4) —線部③「あやしう覚えて」とあるが、なぜそう思ったのか。その理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 御所に参上する者たちの時間が遅れていたから。
イ 行列がやってくる時間が遅れていたから。
ウ 様子を見に行かせた者たちの声が聞こえたから。
エ 行列が通り過ぎたような話が聞こえたから。

いふらんと思ふ程に、「玄蕃殿の国司姿こそ、をかしかりつれ」といふ。「藤左衛門殿は錦を
ついで言うのだから」

着給ひつ。源兵衛殿は縫物をして、金の文をつけて「など語る。
着ておられた 紋様

③ あやしう覚えて、「やうれ」と呼べば、この「見て来」とてやりつる男、笑みて出で来て、
おかしいと思つて 違わした

「大方かばかりの見物候はず。賀茂祭も物にても候はず。院の御棧敷の方へ渡しあひ給ひた
おほかた ございません 京都の賀茂神社の祭 白河法皇の御観覧席

りつるさまは、目も及び候はず」といふ。「さていかに」といへば、「早う果て候ひぬ」といふ。
目もくらむほどの見ものでした もうとつくに終わりました

「こはいかに、来ては告げぬぞ」といへば、「こはいかなる事にか候ふらん。『参りて見て来』と
どつして知らせに來ないのか

仰せ候へば、目もたたかず、よく見て候ふぞかし」といふ。大方とかくいふばかりなし。
まばたきもせず おりましたのです まったく話にもならないような次第であった

さる程に、「行遠は進奉不参、返す返す奇怪なり。たしかに召し籠めよ」と仰せ下されて、廿日
まもなく白河法皇が 行列に参らず まことにもって不屈きである 謹慎させよ 二十日

余り候ひける程に、この次第を聞き召して、笑はせおはしましてぞ召し籠めはゆりてけるとか。
許された

(本文は「新編日本古典文学全集」による 問題作成上一部省略した箇所がある)

(5) 次の [] はこの文章について、谷本さんたちが
グループ内で感想を出し合った様子である。

谷本 行遠は、行列への参加に失敗してしまつたうえ
に罰せられて、気の毒だったな。

森川 確かに行遠は失敗してしまつたよね。その失敗
の原因は、[A(四字)]、という言葉をめぐる
行遠と従者の行き違いだったと思うよ。

杉村 そうだね。行遠は、行列の様子を見て、
[B]、と伝えたつもりだったのに、従者は
浅はかにも、行列の様子をただ [A]、と
いう意味だけにとらえてしまつていたね。

清水 言葉での行き違いは、自分も経験があるから、
行遠や従者と同じだと思つたよ。でも行遠は、
もう少し細かい指示を出すとか、自分で行列の
様子を見に行くとかしていけば、失敗を避けら
れたかもしれないね。

森川 行遠は「[C]」とあるように、自分の着飾つた
姿のうけをねらうことで頭が一杯だったんじや
ないかな。これも失敗の原因かな。でも行遠の
気持ちは共感できるな。

谷本 なるほど。行遠と従者の行き違いにまつわる
互いの行動や心情が、この話のおもしろさの
ひとつなんだね。白河法皇が笑つて許した
気持ちもわかるような気がするよ。

i [A] に当てはまる適切な言葉を、指定された
字数の現代語で書きなさい。

ii [B] に当てはまる適切な言葉を、十五字以上
二十五字以内の現代語で書きなさい。

iii [C] に当てはまる部分を本文中から二十五字
以上三十文字以内でさがし、最初の五字を書きなさい。

【問五】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

高校一年生の「僕」は、町のパン屋さん取材し、店員の「董」さんが事実とは異なる話をしてることに気づきながら、確認せず昼の放送で紹介し、トラブルを招いてしまった。そこで放送部の仲間提案し、もう一度パン屋さんをモデルとしてラジオドラマを制作し、文化祭で発表しようと考えた。しかしある日、そのパン屋さんの前を通ると閉店していることに気づく。動揺していると、忘れ物を取りに来た董さんが現れ、元々閉店する予定だったと聞かされる。更に董さんは、謝る「僕」に、取材のときに言えなかったことを語り出した。

「古くなったお店を直すより、パンの種類を増やしたくて一生懸命パンを作ってるからね、たまに来るのよ。今にも潰れちゃいそうのうち、店を心配してくれる学生さんが、たくさんお友達を連れてきて、『また来ます!』って、言ってくれる子とか、毎日毎日ひとつだけパンを買って、いっけてくれる子とか……。卒業すると顔を見なくなっちゃうんだけど、でもまたしばらくすると来るの。同じ制服を着た学生さんが」

最初は恐る恐る店に足を踏み入れ、店内を見て驚いたような顔をして、それから足しげく通うようになってくれるらしい。南条先輩も、もしかしたらそうだったのだろうか。①

「でも、学校全体にうちのお店を紹介しようとしてくれたのは今回が初めてだったの。インタビュに来てくれたみんなは熱心で、どうすれば店にお客さんが来てくれるか一生懸命考えて、この店のいい所がアピールできるような質問をたくさんしてくれたじゃない? それを見たら、もうすぐお店を閉めるなんて言い出せなくて」

がっかりさせてしまいそうだったから、と、董さんは申し訳なさそうな顔で言う。

「インタビュで嘘ついちゃったのも、ごめんなさいね。せつかくだから、何か面白いお話をしあげたかったんだけど、こんな小さなお店でしょう? 特に変わった話もできなくて……。学生さんたちにはたくさんお世話になったから、最後に何か役に立ちたかったんだけど」

ごめんなさい、と再三謝られてしまい、必死で首を横に振った。

そんなのちっとも、謝られるようなことではない。むしろ謝るべきは僕たちだ。

僕たちは全員、初めてのインタビュで舞い上がって、店のことを学校のみんなに知ってもらうのはいいことだと思ひ込んで、とにかく店に客が集まるようなインタビュを心掛けた。店の成り立ちや、どれほどパン作りに情熱をソソいでいるのか、客足が遠のいている現状の苦勞など。人が来なくて困っていることが伝われば、きっと学校のみんなも店に足を運んでくれる。そう考えて、知らず知らずのうちに董さんに、困っている話をするよう仕向けてはいなかったか。

きっと董さんは、僕らが期待する回答を敏感にサッチした。それでつい、僕らの要望に応えて話を大きくしてしまったのだ。

② だとしたら、董さんに嘘をつかせたのは僕たちではないか。

言葉もなく立ち尽くしていたら、董さんに「大丈夫?」と声をかけられた。

(1) 文章中の〰〰〰線部を漢字に直して、楷書で書きなさい。

- ① ソソ ② サッチ

(2) ……線部に用いられている表現技法として適切なものを、次のア〜オから二つ選び、記号を書きなさい。

- ア 擬人法 イ 倒置 ウ 対句
エ 反復 オ 体言止め

(3) —線部①の文章中の意味として最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア びくびくと慎重に イ 数人で連れだって
ウ 間を置かず何度も エ 慌てるようにして

(4) —線部②「言葉もなく立ち尽くしていた」とあるが、その理由として最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 董さんに嘘をつかれたことに動揺したから。
イ 董さんに嘘をついたのが自分だと気づいたから。
ウ 董さんが自分たちのせいで嘘をついたかもしれないと気づいたから。
エ 董さんが自分たちのために我慢をしていたことに気づいたから。

(5) 次の□□は、阿部さんと田中さんが、この文章の内容と表現について話し合っている様子である。

阿部 お互いに相手の役に立ちたいと思っていたけれど、すれ違ってしまったよね。

田中 「僕」は、董さんに「A(六字)」をしてもらいたいと知らず知らずのうちに思い、董さんは、僕たちの期待に応えようとして行動したね。

阿部 「僕」は、そのことに気づいて「B(六字)」と、強く思ったんだね。

僕はもう一度董さんに謝ろうとしたが、直前で思い直して別の言葉に変えた。「来月の文化祭で、放送部のラジオドラマを作ることになったんです。できれば今聞いたお話も脚本に盛り込みたいのですが、構いませんか？」

きょんとした顔をする董さんに、森杉。パン屋と放送部の間で起きた一連のできごとをドラマ仕立てで流すのだと説明する。そうしながら、伝えなければ、と強く思った。

他人に期待をすること。その期待に応えようとする。そこで生まれる齟齬。

きつこういうことは、日常生活でも起こり得る。振り返れば自分にだって覚えがあった。親や友達から期待されて、調子よく返事をしてしまって、後々自分で自分の首を絞めることなんて珍しくもない。

実例を伴った言葉は、きつと聞く人の心に残る。

今度こそ、嘘も飾りもなく届けたい。正直にパン屋を営み続けた董さんが、最後まで高校生たちのことを考えてインタビューに応じてくれたことも、僕たち放送部が未熟だったせいでトラブルを起こしてしまったことも。

——伝えたいことって、こういうことか。

董さんに一通りの説明を終え、僕は体の脇で固く拳を握った。

「誰かと喋っているとき、相手の言葉に違和感を覚えることってあると思います。勢いで口にした自分の言葉が、本心から少し離れてしまうことも。でも、テンポよく流れてる会話を止めるのって難しいです。下手に会話を止めると、空気を読まないって言われてしまうこともあるし。けどどやっばり、言葉はすれ違ったままにしておかない方がいいんだって今回のことでわかりました」

董さんは僕を見上げ、そうね、と穏やかな声で相槌を打ってくれる。それに背中を押され、懸命に言葉が続けた。

「誰かが同じような状況に立ったとき、勇気を出して尋ね返したり、言い直したりする、そういうきっかけにこのドラマがなってくればいいと思ってます」

僕の言葉に董さんは何度も小さく頷いて、目元に柔らかな笑い皺を寄せた。

「文化祭って、私たちも見に行けるのよね？」

「は、はい。確か、二日目だった誰でも……」

「だったら、私も是非そのドラマを聞きに行きたいわ」

店にまつわる話ほどなことでも全部脚本に盛り込んで構わない、と快諾して、董さんは軽く僕の腕を叩く。

「楽しみにしてるから、頑張るって」

ごく軽い力だったのに、腕を叩かれた振動が全身に伝わったようだった。^③体の芯がぶるりと震える。自然と背筋がまっすぐ伸び、僕は董さんの目を見て「頑張ります」と応じた。

(青谷真未「水野瀬高校放送部の四つの声」問題作成上ふりがなをつけた箇所がある)

*(注) 南条先輩 放送部の二年生 齟齬 ぐさご ぐいちがうこと

田中 その後続く、「**C**(十一字)」という行動描写にもその思いが表れているよ。そして、「言葉はすれ違ったままにしておかない方がいい」と、考えたことを董さんへ伝えてるね。

i **A**、**B**に当てはまる最も適切な言葉を、

本文中からそれぞれ指定された字数で抜き出して書きなさい。

ii **C**に当てはまる最も適切な言葉を本文中から指定された字数で抜き出し、最初の四字を書きなさい。

(6) ——線部③に至るまでの「僕」の気持ちや行動について、次の□のようにまとめた。□に当てはまる適切な言葉を、あとの〈条件1〉、〈条件2〉と《注意》に従って書きなさい。

「僕」は、□「頑張ります」と応じた。

〈条件1〉話の展開を踏まえ、決意、励まし、責任と使命の

三つの言葉を、この順で使って書くこと。

〈条件2〉六十字以上七十字以内で書くこと。

《注意》ふりがながついてる漢字(董、嘘、凄、齟齬、喋、相槌、頷、皺、叩)を解答に用いる場合は、

ひらがなで書いてもよい。

※次の枠は、下書き用なので、使っても使わなくてもよい。解答は、解答用紙に書きなさい。

「僕」は、					
	30				
	60				
		20			
		50			
			10		
			40		
				70	

「頑張ります」と応じた。

これより先に問題はありません。

下書きなどが必要なときには、自由に使うてかまいません。